

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働課

1 施設の概要等

施設名	府中市多機能拠点施設(道の駅びんご府中)		
所在地	府中市府川町230番地1		
設置目的	道路利用者に対し良好な休憩場所を提供するとともに、地域の情報の発信及び地域の特産品の販売等を通じて、市民等の交流の促進及び産業の振興に寄与することを目的とする。		
施設・設備	道の駅		
指定管理者	R4.4.1	～	R9.3.31 株式会社天満屋ストア

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	レジ通過者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	173,000 人	145,570 人	1,236 人	-27,430 人	84.1%
R5	182,000 人					%
R6	190,000 人					%
R7	198,000 人					%
R8	207,000 人			-		%
増減理由	2022年4月29日にカフェレストラン一歩がオープン(4月1日～28日の期間は休業)					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	所定のアンケート用紙に記載していただく	10代～60代以上の男女を対象、31件
調査実施内容	【主な意見】	【その対応状況】
	①酒・ビールを扱って欲しい。②新しい商品を導入して欲しい。③レストランを広くして欲しい。④他の道の駅を見て参考にしては？	①現在、酒の取扱いは考えていません。②新規出荷者募集を行っています。④定期的に他の道の駅を見て回り、参考になる点、いい点は出来る所から対応しています。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考			
報告書	年度	○				
	月報	○				
	日報(必要随時)	×	必要なかったため。			
管理運営会議【特記事項等】						
12回 会場 道の駅						
現地調査(実施月)		【指定管理者の意見】				
1月	2月	3月	4月	5月	毎月定期的に定例会を開催していただき、その都度宿題案件の確認を頂いています。又、急を要することに関しては、適宜対応いただいています。	
○	○	○	○	○	【市の対応】	
6月	7月	8月	9月	10月	・労働条件チェック(R4年4月27日)	
○	○	○	○	○	・道の駅定例会、産直連絡会(毎月1回開催)	
					・軒下のカビ取り実施(R4年10月～11月に4回実施)	
					・公共建築賞現地調査(R4年11月22日)	
11月	12月					
○	○					

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	14,500	-1,096		R4	1,089	-763
R5				R5			
R6				R6			
R7				R7			

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	15,596	14,500	-1,096	指定管理料減額
	料金収入	1,852	1,089	-763	飲食物提供施設の手数料率変更の為
	その他収入	4	5	1	
	計(A)	17,452	15,594	-1,858	
	支出				
	人件費	2,956	2,330	-626	
	光熱水費	5,389	5,489	100	電気代711千円増
	設備等保守点検費	467	424	-43	
	清掃・警備費等	4,536	5,197	661	ワックス掛け・ガラス清掃回数増
施設維持修繕費	407	449	42		
事務局費	5,044	5,004	-40		
その他支出	1,515	1,457	-58		
計(B)	20,314	20,350	36		
収支①(A-B)	-2,862	-4,756	-1,894		
自主事業	収入(C)	22,952	26,325	3,373	
	支出(D)	16,434	16,374	-60	
	収支②(C-D)	6,518	9,951	3,433	
合計収支(①+②)	3,656	5,195	1,539		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>道の駅本来の設置目的である ①道路利用者の休憩場所 ②道路情報を含む、府中市を中心とした観光地・イベントなどの情報発信 ③施設利用者へのお買物・食事などのサービス施設の提供を行う中で、気持ちよく利用して頂けるよう維持・管理を行ってきた。</p> <p>令和3年度にオープンしたi-coreFUCHUに加えて、令和4年4月29日オープンした道の駅内のカフェレストラン一歩、令和4年5月3日にオープンしたこどもの国ポムポムの大型遊具の設置の波及効果で、幼児から小学生を連れた家族連れやランチを楽しむ女性グループの新しい客層が増えたことで、結果的に施設全体の客数が増加し、産直市・レストランを中心に好調に推移した。</p>	<p>各出荷者と丁寧なコミュニケーションを取り、出荷者が気持ちよく出荷できる環境を整えた結果、出荷量が増加し、売上増につながった。</p> <p>また、新たにオープンしたレストランとも良好な関係を築き、利用者を第一に考えた施設全体の運営を行うことで、利用者数も昨年より増加した。</p> <p>令和4年の4月末までレストランが利用できなかったこともあり、レジ通過客数は目標には届かなかったが、利用促進に向けた取組を行うなどしているため、令和5年度も継続し利用者の増加に努めていきたい。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>1.施設全体の75%を占める産直市の更なるベースアップ</p> <p>①新規出荷者の募集活動</p> <p>②カメラシステムの活用による販売チャンスロス削減</p> <p>2.特産コーナーの底上げ</p> <p>①中通路を利用し、テーマに沿った商品の露出を行う</p> <p>②定期的に売場変更を行い、売場鮮度を維持する</p> <p>3.施設バージョンアップ作戦の検討</p> <p>①手狭になっている産直市、売上苦戦が続く特産コーナーの抜本的な売場展開の見直し</p> <p>以上の事を重点的に取り組むが、あくまでもベースになるのは、施設利用者が気持ちよく利用でき、出荷者の方達が気持ちよく出荷してもらえるような環境作りに取り組む。</p>	<p>・老朽化し耐用年数が経過している設備、備品等の更新を計画的に行う。</p> <p>・令和5年10月より実施されるインボイス制度について法を遵守できるよう指定管理者、レジシステム改修業者等と連絡を取り合い対応する。</p>